



2003 年 11 月 25 日

改訂平成 2009 年 5 月 17 日

製品安全データシート

会社情報

会社名：株式会社ニラコ

住 所：東京都中央区銀座 1-20-6

電話番号：03-3563-0555

FAX 番号：03-3563-2510

1. 製品名（化学名・商品名） 亜鉛 板

2. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別：単一物質

化学名：亜鉛

成分及び含有量：99.5%以上

化学式又は構造式：Zn

官報公示整理番号（化審法・安衛法）：該当しない。

CAS No.：7440-66-6

国連分類及び国連番号：国連の定義上危険物に該当しない。

3. 危険有害性の分類

分類の名称：急性毒性

危険性：なし

有害性：粉塵・ヒュームを吸入すると金属熱や呼吸器の刺激症状をきたす。

環境影響：水生生物に有害である。

4. 応急措置

目に入った場合：目を擦らず、清水で洗浄する。（粉塵等）

皮膚に付着した場合：石鹼水で洗浄し、清水で洗浄する。（粉塵等）

吸入した場合：空気の新鮮な所に移動し、必要に応じ医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火法：不燃性のため、適用せず。

消火剤：不燃性のため、適用せず。

6. 漏出時の措置

固体のため漏出しない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	: 重量物なので落下に注意。 : 落下や衝撃を加え又は引きずる等の取扱いは避ける。 : スプリング性がある為、跳ねによる切傷、目のケガに注意すること。 : 切断面は鋭利になっている為、軍手等を着用し、素手でふれないこと。
保管	: 酸、アルカリ、強力な酸化剤、塩化物等化学物質と接触させないこと。 : 保管場所は、平坦な場所とし、傾斜している場所や不安定な場所での保管は荷崩れの原因となるので、注意すること。

8. 暴露防止措置

管理濃度	: 規定されていない。
許容濃度	: 混合物としての規定はないが、ヒューム・粉塵が発生する場合は下記を参考とする。

対象物質 : 亜鉛

日本産業衛生学会勧告値	: 酸化ヒューム	5.0mg/m ³
ACGIH (TLV)	: 酸化ヒューム	5.0 mg/m ³
	: 酸化粉塵	10.0 mg/m ³
OSHA (PEL)	: 酸化ヒューム	5.0mg/m ³
		10.0mg/m ³ (15 分以内)
	: 酸化粉塵	10.0mg/m ³
		5.0mg/m ³ (呼吸可能)

特に規定の無い項目の暴露条件は 8hr/Day X 5Day/Week で長期にわたる作業が可能であることを意味する。

設備対策 : 通常はふようであるが、粉塵・ヒュームが発生する場合で粉塵・ヒュームの濃度を上記の基準以下に維持できない時は、局所排気装置等の設備対策を行う。

保護具

呼吸用保護具	: 塵埃、細かなチップ、旋盤屑等が存在する場合は、防塵マスクを着用すること。
保護眼鏡	: 粉塵、細かなチップを生ずる様な作業においては、保護眼鏡を着用

すること。

保護手袋 : 手先を損傷する可能性がある場合には、保護手袋を着用すること。

保護衣 : 定められた作業衣、安全靴を着用すること。

9. 物理/化学的性質

外観・臭い : 光沢のある青みをおびた銀白色の固体。無臭

融点 : 415~420℃

沸点 : 907℃

比重 : 7.14(20℃)

溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 不活性で安定

可燃性 : なし

発火性（自然発火性・水との反応性）: なし

その他 : 特になし

11. 有害性情報

皮膚腐食性 : なし

刺激性（皮膚、眼） : まれに接触皮膚炎を起こす。

感応性 : なし

急性毒性（50%致死量等を含む）: 亜鉛のヒュームを吸引すると数時間後に悪寒とともに高熱を出す（亜鉛熱）ヒト T C L_u=124mg/m³/50M

亜急性毒性 : なし

慢性毒性 : 慢性中毒の症状は、肝臓および肝臓の障害が見られる。

がん原性 : なし

変異原性（微生物、染色体異常）: なし

生殖毒性 : なし

催奇形性 : なし

その他（水と反応して有害なガスを発生するを含む）: なし

12. 環境影響情報

分解法 : データなし

蓄積性 : データなし（長期間多量に使用すると海水中の亜鉛濃度が水産用水基準の 0.01mg/l を超える可能性がある）

魚毒性 : データなし

その他 : 水質汚濁防止法に関わる排水基準 Zn : 5mg/l 以下。
水道水の水質基準 Zn : 1.0mg/l 以下。

1 3. 廃棄上の注意 : 再利用が可能な為、回収し、処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意 : 車輛で輸送する場合は、製品にシートを掛ける等雨水に濡らさないよう注意する。又落下、荷崩れを防止すること。

1 5. 適用法令

PRTR 法 : 該当せず。

労働安全衛生法 : 粉じん障害防止規則第 2 条第 1 項

1 6. その他の情報

引用文献 : 金属用語辞典 (金属学会編)
化学物質の危険・有害便覧 改訂 4 版 (中央労働災害防止協会)
産業中毒便覧 増補版 (歯科薬出版株式会社)
危険物ハンドブック (丸善出版)
水産用水基準 (社) 日本水産資源保護協会

記載内容についてのご注意 :

記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成したもので、新しい知見により改訂されることがあります。又、記載内容は情報提供であり、保証するものではありません。
